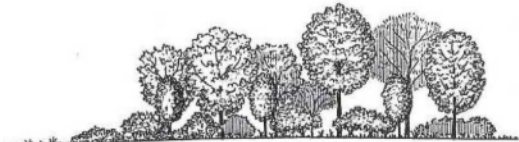


配慮の視点	種の多様性への配慮	配慮項目	野生生物の生息・生育環境の保全・創出
配慮事項	多様な緑地などの保全・創出		
配慮事例	生育環境への適合性や周辺植生との調和に配慮した植栽の実施		
内容	<p>●生育環境への適合性や周辺植生との調和に配慮した植栽の実施</p>		
	<p>【解説】</p> <p>海岸部は潮風の影響を受けるため、耐潮性のある樹木の植栽を検討します。植生を復元する際には、地域にどのような植生があるのかを把握し、どのような植生を創出するのが最もいいのかを地域のモデルとなる植生を基に十分に検討することが望まれます。その上で、地域に自生する種を植えることが、地域に特徴的な生態系の保全につながります。</p> <p>【具体的な工法・配慮事項】</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>臨海部における植栽のイメージ</p> </div> </div> <p>出典:3</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 創出する緑は、創出箇所周辺の植物群落などをモデルとして、どのような緑を創出するかの検討を行います。 ② 港湾緑地が立地する臨海部は内陸部に比べ風が強く厳しい気象環境にあり、その立地する環境の特性を十分把握して植栽を行う必要があります。 ③ 港湾緑地が立地する臨海部は、潮風による影響を強く受けるため、潮害に強い樹種を選定することが重要です。 ④ 植栽には郷土種を用います。 ⑤ 県の「安全・安心な広葉樹種苗による造林事業の展開」に基づき、原則として北部地域と南部地域間での苗の移動は行わないようにします。 </div>		

【事例】



出典:4

【場所】

兵庫県尼崎市 尼崎の森中央緑地

【環境配慮の内容と方法、工法】

- ・ 「尼崎 21 世紀の森構想」において、「尼崎の森中央緑地」における森づくりを開始している。
- ・ 植栽計画では周辺地域に分布する良好な植生をモデルとし、中央緑地における目標植生等を定めた。
- ・ 具体の森づくりにあたっては、遺伝子の多様性への配慮から、地元産の種子を用いて苗木を育て、植栽している。

留意点

- ・ できるだけ臨海部の地域植生に近い植栽を行う。

参考資料

- 1 「安全・安心な広葉樹種苗による造林事業の展開」兵庫県
- 2 「みんなでつくる尼崎の森－尼崎の森中央緑地植栽計画－」兵庫県
- 3 「港湾緑地の植栽設計・施工マニュアル」運輸省港湾局
- 4 「みんなでつくる尼崎の森パンフレット」兵庫県